

Michi recommends

響く本『人生百年私の工夫』



日野原重明
(ひのはら しげあき)
聖路加国際病院理事長、
同名堂院長

1911年山形県生まれ京都帝国大学医学部卒業
現在、聖路加国際病院理事長・同名堂院長、聖路加
看護大学理事長・同名堂学長、99年文化功労者
早くから、血圧の自己測定運動など地域の健康運
動、ターミナルケアの普及、医学教育・看護教育など
に力を尽くしてきた。また、成人病は悪い習慣によ
ってつくられるものであるということから「習慣病」
という呼び方を提唱し、健診による「次予防」も
よい習慣づくりで病気を予防することが大事と呼び
かけてきた。

著書に「死をどう生きたか」(中公新書)、
「道をてらす光」(春秋社)、
「生き方上手」(ユー・エフ)など多数。

戦後豊かな社会の到来とともに、過去半
世紀の間に日本人の平均寿命は、三十年以
上も延長しました。今や「人生八十年」とい
われつつありますが、世界の長寿国にな
つていたのです。この傾向は、今後さらに続

六十歳は人生ゲームのハーフタイム。

くと思われまふ。少しあたりを見まわして
みても、八十歳・九十歳ですごる元気とい
うお年寄りは何人もおられます。私自身も
もうすぐ九十歳の誕生日を迎えますが、現
役の医師として、まだまだ働き続けるでし
ょう。九十歳を越えなければ、まだやつたこ
とよりもやらなないことのほうがたくさんあ
る。そんな気持ちで日々新たなです。以前私は
「六十歳の新人宣言」という本を書きまし
た。そのコンセプトは「六十歳は老人ではな
い。いやあなたの本当の人生が始まる再スタ
ートの時だ」というものでした。今また「人
生百年」のものさしから考えると、私が訴え
たいことがますます現実味を帯びてきてい
ます。六十年は「人生百年」のハーフタイム
にすぎません。このたび「人生百年」の視点
から、旧著に大幅に手を加え、再編集して世
に問うておりました。その意味で、本
書のキーワードは「60」と「100」という二つの
数字です。あなたの人生の大きな 目安とな
る数字です。さて、この本の読者の中で「過

ストレスを楽しみ脳の活性化。

ぎ去った現役時代は幸せに生きられた」と
回顧できる方はどのくらいおられるでしょ
うか。みなさんの多くは、前半の人生を夢中
に暮らしてこられた方々だろうと思います。そ
れがやると現役の重荷を解かれたので、これ
から先六十歳からの生活は少しゆつたりと
暮らしたいなと思われ方は少なからずお
られるでしょう。しかし、六十歳で現
役の人生が終わるわけではなく、この年齢
を超えた後半の人生こそは、あなたの方が自
由にデザインできる希望のある人生である
ことに気づいていただきたいのです。私は、み
なさんの中には、機会がなかったためにせつ
かのように遺伝子も陽も目を見ずにそのま
ま潜在しているのではないかと思います。そ
こで私は六十歳こそは人生のゲームのハーフ
タイムであることにみなさんが気づき、この機
会に、第1の人生が幸せに生かされるように、
後半の人生に想いをかけてほしいと思います。
自己を開発する後半のあなたの人生の主体
は、あなた自身です。あなたが勇氣と希望

YUTA FUJIWARA 藤原雄太 MBAS校三年

Watch me! ...I'm smiling

毎朝6時にシャワー代わりに海で泳いで、午前中は皆で大事な船の掃除。
掃除すらも何故か不思議なくらい楽しかった。そしてTopSail (マスト)
登って帆を張って新しい島が見えた時の感動は半端でなかった。島で
は皆と大暴れしまくって、船に戻り帆をたたみ終わって見上げた時の
夕日がただ言葉にならない程の美しさを誇っていた。飯の時間は一日5
食ッ。交代でやるNIGHT WATCHINGの時間も、夜2時くらいに起こさ
れてウトウトしながらもあのNZの陸から見える星達よりも一層際立っ
て美しく見えるあの星空に目を覚ます。360° パノラマの...まさに圧巻
だった。明日自分達がどこに辿り着き、何をするかなんて知ったこ
っちゃない。そんなの明日になればわかるんだ。...ただ毎日ドキドキワ
クワクが止まらなかった。そんな自分の気持ちに率直に笑いつけた。
最後皆と別れる時は思うがままに泣きじゃくったよ。ただそれでも
「Watch me! ...I'm smiling」で泣きながら笑ってたけどね。

地上の星に寄せて

年が明けたと思つたら、すでに我が家の窓から見える桜は満開。
この数日の強風で花の鉢や洗濯竿は吹き飛ばされ、土埃がいつに
なく多い。ニュースで、日本にもゴビ砂漠からの黄砂到来を知り、
ホースで水を撒き、ランダの掃除を開始。埃っぽい掃除が終り、ホッ
と空を見上げれば、月が煌々と地上を見下ろしている。
毎日新聞でカナディアンアカデミー・セタガヤの実践を読んだ親
御さんから、息子さんの相談を受け、当人と会う機会がアツと言
う間にやつて来た。かつて作曲もしていたと言つたこの寡黙な青年
が、控えめに喋る声の妙に耳触り良い。その印象をメールで送る
と、カラオケで一度、歌を聴いて欲しいと返信が返ってきた。こんな
にも早く心を割ってくれた嬉しさに、海外出張の直前で目白押
しのスケジュールを空け、ご両親も誘つてカラオケに出かけた。
彼の曲目の選択が気に入る、唯一歌える中島みゆきの「地上の
星」を彼とデュエットした。私をよく知る仲間から、いつまでもロマ
ンチックな気質が抜けないと言われるが、日常生活を離れた時、
ペランダでこの歌を口ずさみながら空を仰ぐのが好き。するとス

一と個の星になり、天空から地上を見下ろす自分がある様な気
分に浸れる。
昨秋、ロンドン大学院で宇宙工学の修士課程を終えた道方望
都は、宇宙飛行士になる夢を実現するため、Phd(博士号)の
勉強を続けながら仕事ができる就職先を探している最中。読書
中の本は立花隆著「宇宙からの帰還」帰還した宇宙飛行士の
中には宣教師になったりして、生き方を大きく修正している者
が多いそうだ。彼らは宇宙で何を感じたのだろうか? 人類とし
て初めて宇宙飛行を成し遂げた、ソビエト連邦のカガリン飛
行士は帰還後「宇宙には神はいなかった」と言ったが、神とまでは
言わなくとも、地球を離れ地球から宇宙を見下ろした時、俗世を離れた宇宙飛行士が何かに感じ入った事だけは
確か。
留学を転地療法と位置付けた実践も20周年を終えた。この実
践をライフワークにする事から後ずさりできない所に立っている
自分を、改めて見直したいと思う今日この頃である。



Dear Michi

ホームステイでは、始めの頃は本当に気を使ってしまって、何をすることも遠慮していました。そのホストが気に入って、余計に好きだから気を使っていたかも…。でも、長い間お世話になってると、ホストとの付き合い方なども学んでいって、それほど苦痛じゃなくなりました。学校では、先生達が人として良い人ばかりだし、日本の学校の先生とは仲が良くても、学校で話す程度だけど、家に招いてもらったり、優しい人ばかりでした。授業も自由な感じで、発言する事が多くて、自分から進んで答えを言うて行く様な環境なので、初めの内は戸惑いとかがあったけど、今では恥ずかしがらずに発言できるようになりました。



日本だったら、クラスで発言する事が恥ずかしい事に思われがちだけれど、今ではそれが変な事に思われます。ニュージーランドに留学してから、3ヶ月程で約1.5センチぐらい身長が伸びました！それに、すこしづつだけど、精神年齢も大きくなって行った様な気がします。もしも留学していなかったら、平凡な高校生活とか、勉強に追われるだけの生活を送っていた様な気がします。

坂上千明

2月から国立テーマズ高校2年に編入



娘がNZへ行った経緯…石井久安



難波三津子先生とは、ある会で昼食のテーブルがたまたま向かいだったというご縁で知り合いになりました。海外で環境を変えることによって子供たちは大きく成長しますよという先生のお話を興味深く聞かせていただきました。家に帰って話したところ、大学1年の娘が是非ニュージーランドに行きたいということになりました。彼女は希望する大学に入ったものの、今後の目標を見失っていました。新しい自分を見つけないかと思っていたところにニュージーランドへの語学留学の話が飛び込んできたのです。1週間後には難波先生と直接会って留学の話を決めてきました。そして1ヶ月後の11月1日にはもうニュージーランドのフィティアンガにあるEVAに入学していました。それから3ヶ月、手紙や電話でのやり取りはありましたが、ニュージーランドはいいところよ、お父さんも是非来てみないか？という娘の誘いに乗って、私は今年の1月20日に日本を出発しました。それから11日間、娘と二人だけのとても充実した旅行をさせていただきました。私の旅行の目的は、一つにはニュージーランドの壮大な自然に出会うことと現地の人と触れ合うことでした。二つ目の目的は、今後の進路について娘の相談のついでにやることでした。しかし旅行のあまりの楽しさに、二つ目の目的は全く果たせませんでした。ニュージーランドでの旅行の楽しさはいくら話してもきりがありません。どこの町にもインフォメーションセンターがあり、丁

寧にいろいろなことを教えてくれます。バスや列車の予約、ホテルの予約等ほとんどをそこで決めました。旅行を通じて、現地の人々が自然を本当に大切にしているということに感動しました。そして一番感動したことは、皆とてもフレンドリーで最後にはニコット微笑んでくれることでした。私たちの旅行を最高のものしてくれたのは実はこのニコッです。3ヶ月前に娘が初めて生活し始めたときには、ホームステイ先のおばさんの話が速すぎてよく聴き取れないと半べそをかいて電話をしてくることもありました。それがうそのようにリスニング力がついていけるのには私も驚きました。現地の人の話していることがよく理解できています。ニュージーランドに限りませんが、外国へ行くこととする若い人たちの目的は人によっていろいろでしょう。英語を勉強したいという人もいれば、スキルを身につけるために行くという人もいます。日本の学校になじみなかったので環境を変えるために行くという人もいます。どうなるか、それは本人次第です。ニュージーランドには、今の日本が失ってしまった大切なものがたくさん残っています。若い人たちは是非このニュージーランドの素晴らしさを体感して欲しいと思います。4月には今度は妻が娘に会いに行きます。妻も成長した娘に会うときと驚くことだろうと私は密かに楽しみにしています。娘に素晴らしいチャンスと環境を提供して下さった難波先生には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

English Voyage Academy in New Zealand

Dear Michi

此方に来てから6ヶ月が経ち、心身のバランスが戻って来ましたので、ニュージーランド便りを送ります。ホストファミリーは、この言葉の通り、異国の地でもまさに家族と呼べる人達です。誰よりも長い時間を一緒に過ごす人達であり、生活面、語学の事はもちろん、他にもいろいろな面でサポートしてくれます。私の場合は、車まで貸してくれましたが、これは、なかなか無い事だそうですね。休みの日に、近くのビーチに連れて行ってくださったこともありました。初めて来た外国の地で、不安いっぱい私を支えてくれた事に、とても感謝しています。さてEVA校は常時、約20人ぐらいが英語を学んでいる学校で、大きな学校ではありませんが、その分、とても家族的な雰囲気があります。先生やスタッフの人達もフレンドリーで、親しみやすい人達ばかりです。授業のやり方も非常に工夫されていて、生徒を飽かさせないように、金曜の午後は、アクティビティーの時間でニュージーランドならではの体験ができます。たとえば、乗馬、射撃、スキューバダイビング、金鉱探検など。なんだ、それなら他の場所でも出来ることばかりじゃないかと、思うかもしれませんが、自然の豊かなニュージーランドでやる事に意味がある事が体感できます。とにかく今は、かけがえのない経験をしている最中です。インターナショナルロジに引越して一ヶ月になりますが、ここは自由な代わりに、すべてを自分でやらなければなりません。特に大変なのが料理です。料理は殆んど出来なかったけど、その気になれば何とかなるもので、今では毎日、自炊をしています。ロジには他の語学学校の生徒や卒業生、旅行者なども滞在していて、いろいろな国の人達と交流できるのは良い経験になっています。ホストファミリーやEVAの先生は、私の英語のレベルを知っているので、分かりやすく話してくれますが、特に旅行者などはそういう訳には行きません。でも、英語を学ぶ環境としては、良い場所だと思います。と、まあこんな感じで英語と料理に奮闘している毎日です。では、近いうちに第2便を送ります。



ホストファミリー宅にて
酒井 亮

に第2便を送ります。

娘のNZ留学…坂上千明

高校に入ったものの受験の延長上に学習や部活に追われる毎日が続き、それに疲れたのか、足が遠のいてしまい、半年間葛藤している子を見て、親として何をしなければいいのか私自身も葛藤の毎日でした。親が進めた学校だったので親への反抗心もあり、親子の気持ちがすれちがう日々でした。とにかく外の空気をすわせない、環境をかえさせてあげたい、しばらく親や学校からはなれ、のんびり自分のことをみつめさせたい…その思いの日が続き、あるときふっと立ち寄った本屋で居場所探しの本が目にとまり留学が転地療法になるという難波先生の記事を読み、とりあえず何かに当たってみようという気持ちで電話をしました。さっそく難波先生から送られてきたパンフや会誌をさりげなく見せ母親自身、独身のときに旅行で訪れたことのあるNZの自然、気候のよさ何より人々がのんびりゆったり生活している、それに人情味のある日本人に共通するところにも魅せられたことを話しました。ちょっと娘自身も環境をかえたい、親から自立したいという気持ちが強くなっていったところにタイミングよく話できたのか、翌日妹にこっそり行こうかなと言い出し、何も決まっていないうちに友達にNZに留学するかもとメールをしていたと聞き驚きました。意外な展開に親の方がびっくりしたぐらいで…。難波先生との面談に東京に向向くのも自分から決め、初対面の先生には、今まで親には見せなかった面でも率直に出したそうです。まずとりあえずショートホームステイでもしてちょっと旅行してみても、自分に合えば、一年と考えればいいかと思っていたのに、既にその日に一年間行きたいと言ったのに少々驚きと迷いがありましたが「お母さん、この子なら大丈夫！20年間いろいろな子の留学の手助けをしていてわかる、娘さんの気持ちは本物、やっていけますよ！」の難波先生の言葉に大いに励まされ、任せようと思いました。ラッキーなことに娘が希望しているNZで

世話になるえり子先生が1ヶ月後に日本に来られて、戻るときにいっしょに連れて行って下さるということで話は進みました。6月24日、えり子先生に成田で会い親子でうまくお互いの気持ちを言えないまま、託すことになったのは心苦しかったのですが、娘自身が決定したことそれがいちばん大切と思い旅立たせました。EVAの先生から最初の数日はかなり緊張して、ごはんもあまり食べられなかったが、だんだん慣れてきて順調にしていること、学習面で数学がとくいでEVAの先生が感心していることやあの娘の性格をちょびりシャイだけれどとても気持ちのいい子ですねというメールをいただき、あの子のよい面を見てもらえている、あの子を認めてくれている人たちが周りにいるということがとても嬉しかったです。2~3カ月経ってからは毎日30分ほど話をするようになりました。でも、難波先生やえり子先生がいて下さり私も娘もどうしていいかわからなくなったとき2人から的確なアドバイスがいただけて本当によかったです。親にはつい我がままがでてしまうけど、2人の先生からのアドバイスは率直に聞けたようでした。先日ホストの人がEVAの行事によくいっしょに参加してくれること、娘がホストの息子をとてもかわいがり、その子も娘によくつきホストファミリーとEVAの生徒の交流が、とてもうまくいっているパターンですとのメールをいただき、人間関係の上でも本当に成長したんだなと思いました。今まではEVAのアットホームな雰囲気先生たちに常に見守ってもらえてのびのびとやってこられたのが、この2月から現地の高校に転入してきつとまたいろんな壁にぶち当たることと思いましたが、でも娘の持っている粘り強さでひとつひとつ越えていってほしい、親としては、遠く離れている日本からエールを送るしかありませんが。

ICSに3ヶ月の社会人留学

根岸 幸



ICS校にて

英国留学を決めたのは、飛ぶ一ヶ月前。寝言の様に言っていた、夢のような留学がミッチーの一言で、一ヶ月先の予定に変わった。留学をしたかった自分だが、行き先はドイツ語圏だと思っていた。習いたい演出家がドイツ人だったからだ。そんな彼が言った。「ドイツ語よりも、英語をやれ。」と。英語が出来ない事への不安は驚くほど無かった。勉強していないことが出来るわけがないという聞き直りからか、生まれ持った図々しさからか…。勉強する間も無く、海を越えた。最初は何一つ分からなかった。クラスの中で綺麗な英語を喋るのは先生だけで、クラスメートはその母国の訛りを持って喋る。自分も、その一人だったのだろう。通じない時は何度も言い、聞き取れない時は聞き返す。分からない事に頷いて、理解したように考えた振りをするのは三日で止めた。分からない事は分からないと言い、授業の流れを止めることに、「こんなのも分からないの?」と思われる事など無視して聞いた。先生が私でも分かるような英語で話してくれたのは嬉しかった。彼は決して私分からない単語をズラズラ並べたりすることは無かった。

誰もが知る言葉を使い、話を組み立ててくれた。そして私も、自分の持つ単語だけで話を組み立てた。頭で考えることがあるとしたら[どうしたらこの少ない言葉で人に伝えられるか]と言うことだけで、後は何にも考えずに、頭にあることだけで話した。聞くのもまた同じだった。はっきり言って皆が皆先生のように話してくれる訳じゃない。知らない言葉を多く喋る人だっていっぱいいる。それでも理解が出来たのは、その人が口にした自分の知っている単語を聞き取り、その人が何を言いたいかをその数個の単語から想像したにすぎない。それでも先生は飲み込みが早いと言い、ホストマザーも「日に日に上達している」と言ってくれた。進歩は決して目に映る物では無いけれど、人との会話が厚みを増し、それを実感した。帰国後、良く聞かれる。「英語喋れるの?」の一言。うなずける程喋れた自信は無い。きっと自分の言葉は子供の様だったに違いない。それでも、口を閉ざすよりも、声にし英語を喋った。喋らなかつたら自分の存在は、あつて無い様な物だったに違いない。一言一言が自分の一片一片を表現、形作る。言葉は人と人をつなげる術であり、音楽を表現する楽器のように、自分を表現するモノだと思う。それが 私の中の言葉だ。



ICS校の先生と

知っている便利な英語マナー

紹介の順序

1. 女性に男性を
2. 年長者に年少者を
3. 目上の人に目下の人を
4. 先輩に後輩を
5. 既婚者に未婚者を。

例えば、50歳の未婚男性に20歳の既婚女性を紹介するときは、この様な一般原則を外し、性別は気にせず、2と3を基準にするのが適当。

40代にして1カ月英国ホームステイに飛び立つ

山中みずえ



庭の鳥を見ながら朝食を食べていたテーブル

転職が決まり、ほかんと空いた1ヶ月。憧れだったイギリスにホームステイしよう、とミッチーに相談してから日本を出国するまで、わずか2週間でした。準備はミッチーのおかげで順調に進み、またノーリッチの英語学校ICSは、ヘレン校長が人格的にすばらしい方と聞いていたので全く心配はなかったのですが、なにせ40代半ばの初めての海外ホームステイ。外国人にPRできる特技なし、料理ダメ、英語初心者のハンディを背負ってのイギリス入りでした。行ってみてびっくり、英語の聞き取れなどは想像以上。愕然としました。でもそれを救ってくれたのはICSの先生たち。私の英語レベルのちょっと上くらいに合わせてくれるワザはさすがでした。この私でも、リチャード先生の話す英語がわかるし、話せるし、外国から来た生徒たちとお互い理解しあうことさえできる授業だったのです。毎日の授業が楽しみでなり

ませんでした。また、ヒラリー先生との一对一レッスンでは、私の仕事であるマーケティングに関する話題について、初心者英語ながら話しあうことができ、貴重な時間でした。それから、ぜひ言っておきたいのが、ICSで紹介されたホームステイ先のジェーン!客ではなくその家の子供になるつもりで飛び込んだのですが、大成功。思いやりがあつて感性豊かでラブリーな女性だったのです。いっしょに庭の鳥を見ながら食べた朝食。朝や夕方微妙な空の色の移り変わりを味わった。おしゃべりしていて遅刻しそうなったりもした。冬の澄んだ冷たい空気、暖かいひざ掛け、庭に来る鳥の声を、今でもすぐそこに感じる事ができます。ジェーンのおうちは私のもうひとつの家です。さて、問題の英語力ですが、イギリスにいる間は「上達しない〜」と嘆いていましたが、日本に帰って近くの英会話教室に行ったら、前よりわずかに話せるようになっていた…気がします。ボキャブラリーも自然と増えたかしら。なにより、英語を話したり聞いたり楽しいのです。ミッチー、ICSのヘレン、リチャード、ヒラリー。そしてジェーン。高校のときからの英語の苦手意識がいつのまにかなくなっていました。ありがとうございました。



ICS校のヒラリー先生と

ジョーク

professional

- a) He's a professional. (彼はプロだ)
 - b) She's a professional. (彼女はプロだ)
- a) ではHeが医者か弁護士を意味するが、b)ではその可能性はなく、彼女は売春婦であると言う事である。この様な曖昧さを心配する場合はHe's/She's a professional lawyerとか具体的な職業名をつけるべし。

ビクトリア市立スペクトラム高校校長賞
成績優秀賞を受賞 江原 悠



OL 479-8271	Greater VICTORIA School REVISIT, 2006	校長賞
COMMENTS		SPECTRUM COMMUNITY SCHOOL Principal's Honour Roll
AN OUTSTANDING STUDENT OUTSTANDING EFFORT AND ACHIEVEMENT A CONSCIENTIOUS AND THOROUGH STUDENT A PLEASURE TO HAVE IN CLASS STUDENT HAS MADE A CONSISTENTLY GOOD EFFORT TO DATE.		成績表

冬休みが明け、一学期最後にあるプロビンシャルテストに向けて学校は準備に入っています。そうですね、honour rollに名前が載ったのはなんでなんでしょう。苦労はしましたが、単純なことしかしていません。言ってみれば、頑固、生真面目、完璧主義などから来るものではないでしょうか。要するに、僕の性格だと思います。学校生活が不安だからこそ、完璧主義のままでいた方が良かったらいいけど、最近ほっとしています。僕がやったことは、宿題を提出日に提出し、プロジェクトを終わらせ、課題を終わらせただけです。わからないことがあれば、知っている人に聞きました。Honour rollに載るための定義の様な物は、基準の成績を取るだけなので、単純なのです。9月、まだ慣れない中、これから先やっつけていけるのかどうか自問したとき、just do it!としか思いませんでした。だめだと思ってやめたら、状況は悪くなります。やるしか他にないのです。引き返せないわけですから。僕の状況は崖っぷちなのか

しれません。この留学を成功させなければ行き場はないのです。今の成績、「良い方」になんとかしがみつくなかったです。11月、成績をもらったとき、honour rollがなにかよくわかりませんでした。良いことではありそうだったと思っていました。知り合いにメールを送り、それが何かわかったとき、ほっとしました。グレード10、卒業まで2年と数ヶ月、まだ始まったばかりです。中学に入り、最初の成績が良かったくらいで、これから先が大丈夫ということはありません。受験で落ちることもあるでしょう。不登校になるかもしれません。いじめによって自殺するかもしれません。外国で外国語で外国人と外国の勉強をして、成績が良かったと言おうのは、良いスタートだと思えますが、これから先、進路やストレスで両親との対立のような物を予想しています。物事がそんなにうまくいくとは思っていません。問題が一つ片付くごとに、新しい問題が出てきます。とりえず、自分が何かしないと。そうでないと、事が進みません。

2007

English Voyage Academy
提携校ご紹介

Aotearoa ~New Zealand 親子留学~

石川祐子・真生



昨年8月、息子・真生（7歳）にとって初めての、そして、私、母・祐子（32歳）にとって14年ぶりの語学留学が実行された。滞在先は初の南半球、ニュージーランド北島、コロマンデル半島のフィティアンガという町だった。東京西部で生まれ育ち、田舎のない私達にとって、海や山に囲まれ、自然に恵まれたその町での滞在は、非常に新鮮であり、この土地に住む人々は、フレンドリーでホスピタブル、まさにKiwiそのものだった。

私は、CAS（カナディアン・アカデミー）の新提携校であるEVA（イングリッシュ・ヴォヤージュ・アカデミー）で約1週間、真生は隣接する中小高一貫公立校MBAS（マーキュリー・ベイ・エリア・スクール）で約2週間、お世話になった。日本で英語を学んだ経験は一度もなく、英会話も全くないが、これまで6ヶ国を旅してきた真生にとって、初対面の外国人とのコミュニケーション・スキルは優れたものであり、初日から、何事にも動じず、堂々とクラスに入っていき姿勢が見られた。また、親切なクラスメート+真生専属講師の協力でクラス内外の行動に関しては、しっかりと面倒を見てくれたようだ。さて、現在、通っている東京の公立小学校では、1クラス40

名定員・1棟の校舎に1学年から6学年までの数十クラスが設置されているが、MBASでは、1クラス25名以下・1クラスにつき1棟のカラフルで明るいクラスルームにて、子供達は勉強・生活していた。日本では夏期休暇であったもののピーク時は過ぎていた為、同学年の日本生徒とは同時入学ならず、たった一人で本物のKiwi Lifeを吸収・満喫したのではないだろうか？本人曰く、5時間授業はきつかったらしいが…。先日、こんな雑誌の特集が目に入り、購入した。《世界基準の子育て「人間力を伸ばす」ニュージーランド・スタイル 社会を生き抜く知恵と強さを育むヒミツ》物が豊富に溢れ、何不自由なくデジタル社会に生きている現代の子供達+癒しを要する大人達に、ニュージーランド親子留学を通して、自然に戻り、エコロジーでスローライフな異なる世界も存在する事を知ってもらえたらと思う。

私は、真生に「今年の夏もニュージーランド行ってくれば？」と提案している。そして、私は真生から「欧米か？」と突っ込まれる。いや、欧米ではない。新西蘭は「オセアニアか？」はたまた、先住民マオリは「ポリネシアか？」（笑）

ニュージーランド親子留学&現地事情

親子留学の人気は最近目をみはるものがあります。私たちは日本人の親子をメインにお受けすることが多いですが、世界的に興味が高まってきているようです。お母さんと3歳~10歳くらいのお子さんが一緒に留学し、期間は1・2週間からの短期留学から1年間の長期まで様々。一般的には、親ごさんが当校で英語レッスンをうけ、5歳以上のお子さんは現地小学校に加入します。5歳未満のお子さんの場合はベビーシッターさんのお宅でお世話をしてもらい同時に現地の子供たちとも遊べる機会を持つようになっています。EVAで週に1・2回行われているアクティビティに親子で参加して乗馬やカヌーなどのアウトドア体験もできます。滞在方法は親子と一緒にホームステイしたり、フラットやアパートを借りてステイしています。親子留学の目的もまたそれぞれの親子によって色々、お母さんが留学したいだけ子供は置いていけないう、じゃあ一緒に行ってしまおうという方、子供のインターナショナルスクールの受験準備のためとかとにかく子供を英語に触れさせたい方、日本の学校教育システムに不満を抱いてニュージーランドの教育環境を体験しにいられる

方、またお子さんが小学校に上がる前にゆったりとニュージーランドで親子一緒に過ごしたい、と言った方々などみな色々な理由でいらっしゃいます。

お子さんたちの通う小学校はマーキュリーベイ小学校という公立校で、当校とはすぐ隣同士にあるため、親子留学には非常に便利な環境です。朝8時50分に子供を小学校に送ってから、お母さんは9時から当校で勉強します。フルタイムのコースを取る方法は午後3時に授業が終わり、隣の小学校はお子さんを迎えに行き、一緒に帰宅します。

この小学校は親子留学でやってくる子供たちに対して専属のサポート教師をつけて、クラスで各子供たちの横についてお世話をしてくれます。サポートは現地の教師が英語で行っていますが授業についていけずに寂しい思いをすることがなく、またクラスのお友達も協力してくれるので子供たちにとってとても安心できる環境です。

子供たちが小学校で何か困ったことがあればすぐに小学校から私たちに連絡が届き、私が駆けつけることができます。またお母さんが必要であれば授業を抜けて小



EVA校

学校にすぐ行ける。そういう事態はほとんどありませんが、そういうことも可能だというのが彼らに安心感を与えているようです。

安心感、これが親子留学にとっては大事なことと考えています。他の一般留学生にももちろん言えることですが、親子留学は特に「子供をつれて」いらしゃるわけですからお母様たちもナーバスになっていることがあります。英語のわからないお母様たちは「必要な事態に子供をきちんと守れるだろうか」と不安に思われるのは当然のことです。こういったところを私たちのような現地スタッフが日本語でケアしていくことがとても重要です。何はなくともいつでも気軽に話ができる環境作りが大切だと心がけています。何かあれば助けてもらえる、という安心感さえ感じられれば、大体どの親子さんともはつらつと楽しくニュージーランド生活を楽しむことができます。

私たちの学校のあるこのフィティアンガ



の町は、小さな海辺のリゾートタウンです。人口は4,000人と少なく、小さなコミュニティならではの地元の人々との暖かい触れ合いや交流を持つことができます。また美しいビーチや山々がすぐ目の前にある環境で、のんびりとした町の雰囲気と治安のよところが親子留学に適した土地と言えます。豊かな自然に恵まれたこの町で、子供たちがキラキラと目を輝かせて自然や動物たちと戯れている横で、お母さんたちは地元のママさんたちや EVAスタッフたちと英語でおしゃべりしたり、ホームステイファミリーと一緒に料理したり、そういった何気ない日常のすべてが親子留学の醍醐味なのです。

片山あづみ



Dear Michi

The examination results are graded into three categories : first(i),two-one(ii i) and Two-two(ii ii), first is the overall average above 70%, two-one is above60% and two-two is 50%, below two-two is fail. I have got overall result two-one(ii i).

Well, my plan for this summer is to get a job!! I have sent CV and covering letters last Saturday to some of the reinsurance companies in Germany and Switzerland, so hopefully, I will hear from them soon. I won't be doing space science no longer, but will still be continuing earth sciences. I am going for a researcher in the natural catastrophe field, such as earthquakes, hurricanes etc. My other plan is to get a driving licence! and also, I would like to travel before I start a new life. I have managed to the permanent residence a month ago easily, the immigration officer just asked one single question and after 45 mins, I got my passport back with PR stamp on it. It wasn't hard at all!!

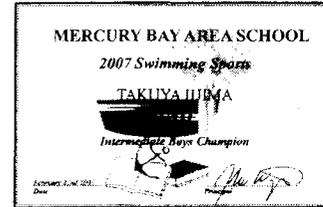
Moto Michikata

Hiroki Hara



Dear Michi

僕は今年アメリカで行われる世界マジック大会に出場しようと思っています。2007.1月 原 大樹



飯島拓也
ニュージーランドMBAS国立高校水泳大会にて二位

Congratulations!!

- * 梅田 勇 EVAニュージーランド国立高校進級準備クラス入学
- * 飯島拓也 EVAニュージーランド国立高校進級準備クラス入学
ニュージーランドMBAS国立高校水泳大会にて二位
- * 三森輝世 EVAニュージーランド国立高校進級準備クラス入学
- * 板津 梓 EVAニュージーランド国立高校進級準備クラス入学
- * 金丸真治 EVAニュージーランド国立大学入学準備クラス入学
- * 和田 星 EVAニュージーランド国立大学入学準備クラス入学
- * 菅野 唯 EVAニュージーランド国立大学入学準備クラス入学
英検準二級合格、着付着付準師範合格
- * 坂上千明 ニュージーランド・チームズ国立高校二年進級
- * 江原 悠 カナダ・ビクトリア市立スペクトラム高校校長賞、成績優秀賞を受賞
- * 鳴島藍子 英検準二級合格 * 平山俊明 鶴見大学・文学部入学
- * 道方望都 英国永住権取得 * 苗加野乃 武蔵工業大学、環境情報学部入学
- * 安藤 玲 ルネサンス高校入学 * 奥村勇太 ルネサンス高校入学